

第 2 回朝来市総合計画審議会意見に係る考え方の整理

■全体的なこと

No.	意見	対応
1	全市民に伝わりやすい言葉にすべき（シビックプライド、society5.0 など）。	総合計画の本文では、「シビックプライド」「Society5.0」に限らず、市民の皆さんにとって馴染みのない用語はできるだけ分かりやすい言葉を使用し、 <u>必要に応じて用語解説を入れる</u> 予定。
2	朝来市らしい基本構想。 自分の思いを自分の言葉で伝えられる機会や対話を大切に続けてほしい。	— ※対話については、「将来像」のサブタイトルと「大切な考え方」で表現。

■時代の捉え方

No.	意見	対応
1	時代の捉え方があることで、「自分はこういったまちの姿が良い」という主観だけでなく、「社会全体が目指そうとしているより良い方向性」の目安になり、主観によらない意見を出しやすい。	—

■将来像

No.	意見	対応
1	グループ対話での意見 ※別紙参照	いただいた意見を踏まえ、「将来像」(案)を作成。 人と人がつながり 幸せが循環するまち ～対話で拓く朝来の未来～
2	(今までの将来像の意見にある)「幸せ」「楽しい」という言葉では抽象的である。個人が集まってまちになるが、全員が幸せにならないことも出てくるので、朝来市の将来像としては、「まちの平均点」になるのではないか。	— ※将来像は、まちの平均点というよりも、8年後のまちの姿や目指す方向性であり、市民一人一人がそれを実感できるようにまちづくりを進めていく羅針盤の意味を持つ。
3	(高齢化が深刻化していく中で、) 明るい未来を描きたいが、明るい未来だけを描けない部分もある。	— ※経済成長だけが明るい未来と捉えるのではなく、人と人とのつながり等による暮らしの安心感や、市民一人一人の豊かな生き方などの実現も、明るい未来と捉える。

■基本理念⇒「まちづくりを進めるうえで大切な考え方」

No.	意見	対応
1	「基本理念」という言葉ではなく、朝来市で暮らし、活動されている方が、「心得として大事にしたいこと」というニュアンスの方がわかりやすいのではないかと。	「基本理念」という表現を、市民にもわかりやすく、「まちづくりを進めるうえで大切な考え方」に変更する。
2	「創発につながる対話」が分かりづらい。市民みんなが見て分かる言葉が必要だと思う。	● 「市民一人一人が主役」 「人と人をつなぐ対話」 「未来へのまなざし」の3点に変更
3	Society5.0 や SDGs という言葉に引きずられるのではなく、「朝来ではこういうふうに捉えられるので、こういったことを大事にしたい」というまとめ方でいいのではないかと。それらが伝わりやすいように朝来で普通に使われる言葉に変換していけると良い。	● 外側のオレンジの丸のなかに、「循環」「共生」「持続性」を追記。(3つの「大切な考え方」を踏まえて)

■まちづくりの目標⇒「8年後のあるべきまちの状態」

No.	意見	対応
1	①～④は市民一人ひとりのチャレンジにつながる理想のまちの姿で、⑤⑥はまちとしての課題なので、分けて考えた方がよいのでは。	「まちづくりの目標」という表現を、「8年後のあるべきまちの状態」に変更する。
2	①～⑥は「どういうまちでありたいか」「8年後のまちのあるべき状態」という視点で見れば違和感はない。「まちづくりの目標」という言葉が合っていないのかもしれない。	
3	情報発信は全ての分野に含まれているという説明だったが、ひとつの柱として必要ではないか。	⑥は、①～⑤を進める共通事項、連携、行政の仕組み等である。ただし、情報発信・情報共有は共通事項として特に大切な事項であること、
4	複数の問題が混在していることが多いので、組み合わせで課題を解決できるような組み立てができるとう良い。	さらに、各施策とも連携しながら総合的に進めていく必要があることなどを踏まえ、⑥の表現を「まちの動きや情報を戦略的につなぎ、効率的で健全な行財政運営を実現する」に変更する。
5	「つながりが生まれる観光」とあるが、誰と誰をつなげるかなどがわかりづらい。「関係人口」はあるが観光という視点では「交流人口」も必要ではないか。	「観光による交流人口拡大」に変更する。

6	基本理念で持続可能性を意味する言葉もあるが、内向きの内容が多い。外向きに朝来市を発信していく部分も強調されると良いと感じた。	まちづくりをしていくうえで、大切なことは「持続可能なまちづくり」であり、その手段として「外向き」「内向き」の両方のアプローチも必要だと考える。その視点から、「 <u>外向き</u> 」に必要なこと、「 <u>内向き</u> 」に必要なことを、今後基本計画のなかで盛り込んでいく。
7	⑤で「都市基盤」とあるが、朝来市は都市なのか。朝来市は農村社会であり、都市部と同じような表現で考えるのではなく、朝来市としての考え方で表現すれば良いのではないか。	「都市基盤」の用語は、道路・橋梁・上下水道・ケーブルテレビ等の施設ことをいい、都市部及び農村部に関わらず使用する用語のため、「都市基盤」で使用する。 ただし、意見の趣旨は、 <u>朝来市らしさを出すことの重要性であるため、その点については、基本構想、基本計画のなかでも意識する。</u>

■その他（基本計画等へ反映すること）

No.	意見	対応
1	今の朝来市は教育部分が弱い。こども育成課と学校教育課は強化されてもよいのでは。	—
2	ファミリーサポートの実施を検討してほしい。	—
3	各家庭における CSTV の設置状況、障がいの有無、言語の違いによって情報格差が生まれている。情報発信・情報共有として強化が必要。	—
4	市内の各種団体の情報などは縦割りで発信されており、欲しい人や市民全体に行きわたっていない状況。市がとりまとめて発信する仕組みや担当課があるといい。	—
5	他市等の先進事例の情報を市民と共有することで、市民が知る機会を増やすし、市民の様々な活動につなげる。	—
6	行政が牽引していく部分と、市民の力が必要な部分の線引きが明確であると、市民も自分たちの活動や行動につなげやすく、自分たちの方向性も見えやすい。	<u>基本計画の中で具体的な行政と市民の役割分担を整理する。</u> (第2次総合計画では、基本計画で「市民との役割分担」で市民、企業、団体等の役割を記載)